

# ロードマップにおける温暖化対策を進めるための施策についての意見

2010年6月11日

主婦連合会

環境部

## 1. 団体概要

### (1) 所在地

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 主婦会館プラザエフ

### (2) 設立年月

1948年9月

### (3) 設立趣旨

消費者の権利を確立し、消費生活の向上を図る。

行政・政府・企業に消費者の意見を反映させるとともに、消費者への啓蒙活動も展開し、暮らしやすい社会を築く。

### (4) 会員数

団体会員：96団体

個人会員：203人

### (5) 機関紙「主婦連たより」（毎月15日発行）

創刊：1948年12月

発行部数：15,000部

購読者：主婦連合会会員・一般消費者・研究センター・行政・企業  
海外（友好団体・在留邦人など）

### (6) 重点各分野

衣料部、住宅部、食料部、社会部、環境部

## 2. 主婦連での低炭素化社会構築のための主な取り組み

- ・パブリックコメントへの意見提出
- ・機関誌「主婦連たより」にての情報発信
- ・省エネ家電についての店頭での実態調査
- ・「環境に配慮した暮らし」、「エコライフのヒント」などの講座講師
- ・他団体とのネットワークなど

☆省エネ家電については、消費者が賢い選択をするためにラベルの周知なども積極的に行なってきた。

☆特に環境部では、製品の環境性能や企業の環境姿勢を中心に CSR 報告書の評価も行なってきている。

## 3. 消費者の権利と責務について関連した国、地方公共団体、企業に望む事

### (1) 日々の暮らしで、住宅・家電・自動車などの適切な選択と普及を促すため

- ①企業姿勢や、その製品に関しての、理解しやすい、信頼できる情報の開示。

②新しい技術の省エネや使用方法は購入時点で、分かりやすくしてほしい。  
例：家庭でのCO<sub>2</sub>の排出削減のための具体的な行動に結びつかないのはなぜか？

- ・電球→蛍光灯？→LED？
- ・省エネ家電の買い替えの優先順位（一番CO<sub>2</sub>排出の多い家電は？）
- ・太陽熱温水器・電気ヒートポンプ給湯器・線熱回収型給湯器の違いは？

(2) 買い取り制度は一律の制度ではないほうが良い

- ①集合住宅・事業所→全量電力買取が有効
- ②戸建て住宅→余剰電力買取を行なう事で、温暖化防止の努力というインセンティブが働く

(3) 低炭素な日々の暮らしのイメージについて

- ①トータルな街づくり、地域づくりについて
  - ・歩道・自転車の走行空間の整備
  - ・暗渠にかくれた河川の再整備（韓国の例）
- ②賃貸オーナーへの支援制度などの創設
  - ・エアコンは既設のため、入居者自信が省エネ性能を選択することが出来ない。環境に配慮したアパートなどは、ランニングコストを考えると光熱費を考えると得であるとセールスポイントになる。
  - ・ドイツなどでも既に取り入れられている。

#### 4. 温暖化に対する費用について

昨年、5月「地球温暖化対策の中期目標に対する意見」は、下記の考え方で意見を提出しました。

地球温暖化を防止するために必要な削減目標の元、国が無駄な財政支出を減らす努力と、税金の再分配の検討を行なった上で、私たちも未来のための一定レベルの負担は必要だと考えています。

この間、炭素税などの必要性についても話し合ってきましたが、税制のあり方、現在の経済状況などから、「負担」が増えるという事が前面に出て納得されません。

しかし、子どもたちに、温暖化で起きた悪影響と、対処のための莫大なコストと言う二つの負の遺産を残さないために、現在を生きる大人は「責任」の実行と「未来への投資」を急ぎ実行すべきと考えています。